

# MJ進路通信：「進路指導室から、未来へ」



～ようこそ、アップデートされた4年目の案内所へ～

前橋女子高校進路指導部

令和8年度 第10号（保護者向け特別版）

令和8年5月23日（土）発行

PTA学級懇談会にご参加いただき、ありがとうございます。前橋女子高校進路指導部では、学校からの情報発信として毎週進路通信を発行しています。生徒向けの内容ではありますが、ご家庭で共通の話題にさせていただきたい内容も掲載しておりますので、ぜひお子様から受け取っていただき、ご一読いただくと幸いです。また、本校における進路活動につきましてご不明な点がございましたら遠慮なく学年進路担当もしくは進路指導部までご相談ください。

## ■受験生をもつ保護者のサポートについて

昨年度までPTA総会時に進路指導主事による講演の機会をいただき、「受験期における保護者のサポート」を中心にお話しさせていただいておりました。昨年度の講演において、特に保護者の皆様をお願いしていたことを以下にまとめましたのでお子様へのサポートの参考にいただければ幸いです。

受験生を持つ保護者が心がけるべきサポートは、大きく分けて「**精神的ケア**」「**生活環境の整備**」「**実務的な手続き**」の3点に集約されます。

### 1. 精神的なケア（家庭の最も重要な役割）

受験においては、システム的なことは学校に任せ、家庭では生徒の精神的ケアに徹することが大切です。

- ・**肯定的な姿勢と信頼**：卒業生アンケートで、有難かったことの1位は「勉強しろと急かさなかったこと、応援してくれたこと」でした。逆に、プレッシャーをかけたり否定したりすることは、生徒にとって最も辛い経験となります。
- ・**「3H」を避ける**：子どもに無用な劣等感を抱かせる「否定」「比較」「悲観」というネガティブな態度は禁物です。成績が伸びない時こそ、ポジティブな言葉で背中を押してあげてください。
- ・**本人の意志を尊重する**：偏差値だけで大学を判断せず、本人がその大学で何をしたいのかという夢を応援することが、生徒の自信に繋がります。
- ・**話を聴く**：時には「その大学のどういうところが気に入ったの？」といった、本人の興味関心に寄り添った問いかけをして、お子さんの声に耳を傾けてください。

### 2. 生活環境の整備

安定した学習時間を確保するために、家庭でのルール作りやリズム維持をサポートします。

- ・**時間の4点固定**：起床・就寝・食事、そして学習開始時間という4つの時間を固定し、生活リズムを安定させます。
- ・**スマホ使用のルール化**：スマートフォンが学力に及ぼす影響を考慮し、家庭内での使用ルールを明確にします。
- ・**学習状況の把握（引き算のサポート）**：生徒は真面目さゆえに、学校の課題や塾の宿題で「いっぱいいっぱい」になりがちです。優先順位を明確にし、完璧を目指しすぎないように、「学習の引き算」を助けてあげてください。
- ・**塾との付き合い方**：「塾に行かせておけば安心」と依存しすぎず、お子様がキャパオーバーになって自信を喪失していないか注意深く見守る必要があります。

### 3. 実務的な手続きと準備

入試制度の変更や複雑な手続きを、家族で協力して乗り越える必要があります。

- ・**共通テストの出願手続き**：令和7年度入試からはオンライン出願が導入され、マイページの作成、検定料の支払い、受験票の印刷などは各家庭で行うことになります。
- ・**多様な選択肢の準備**：第一志望を大事にしながらも、不測の事態に備えて様々なケース（私立大学の併願など）を家族で話し合い、意思疎通を図っておくことが心の安定と強みになります。

受験期は、お子様が自分の夢のために時間を使える「幸せな時間」でもあります。保護者の皆様には、お子様の成長を間近で見守る機会として、「**あたたかく、そしてさりげなく**」サポートする姿勢が大切だと思います。

## ■「受験の宿」の手配について

毎年卒業生を通じて受験期についてのアンケートをお願いしています。その中には「受験の宿」の手配や、宿泊地での過ごし方などについての質問もあります。この時期保護者の方からも「受験の宿はどのタイミングで動き出せばよいのか」という質問をいただきますので、3月に卒業したOGによるアンケートの結果をまとめてみました。

### Q1. 受験のためのホテルはいつ確保しましたか？

2 学期	19%
3 年の 1 学期中（あるいは、それ以前）	9%
夏休み頃	31%
受験期直前	7%
宿泊はしなかった	18%
冬休み前後	16%

### Q2. 泊を伴う受験には、誰と一緒に行了きましたか？

一人で宿泊した	7%
宿泊を伴う受験はなかった	28%
父親に付き添ってもらった	11%
母親に付き添ってもらった	53%
友人と一緒に泊まった	1%
両親以外の家族（きょうだいや親せき）に付き添ってもらった	1%

大学入試において、遠方の試験会場に赴く受験生は、宿泊先（受験の宿）を事前に予約することが重要です。試験当日に万全の状態での臨むためには、安心して過ごせる宿泊環境を早めに確保することが成功への第一歩です。以前は大手旅行社などによる「受験生応援プラン」のようなものが主流でしたが最近はそれぞれのご家庭で「ホテル予約サイト」等から予約するケースが多いようです。大学周辺に宿泊施設が少ない地域や観光地ではなかなか条件のよいホテルを予約するのが大変ですので、定期的に予約状況を見ながら早い時期にとりあえず確保しておくと思えます。まだこの時期ですと実際に受験する大学は 1 つに絞れていないことが多いので可能性のあるところは一通り押さえておく必要があるかもしれません。昨年度の卒業生も約 4 割の生徒が夏休み前後には宿泊地を確保したようです。また、入試の時期によりホテルのキャンセルが出やすい時期があります。共通テスト直後でしたり、推薦入試の合格発表直後なども空きが出る可能性があります（合格者が抜けていきます）。そういう点では、推薦入試を受ける受けられないにかかわらず、受験候補校の推薦入試の合格発表日なども把握しておくといよいのではないのでしょうか。宿泊についてはお母さんに同行してもらうケースが多いようですが、ご家庭の方針で（自立させるために）一人で行ってきた、という生徒もいます。「かわいい子には旅をさせよ」ということでしょうか。

## ■卒業生アンケート（保護者にしてもらって、ありがたかったこと、嫌だったこと）

### Q1. 受験期において、家族にもらったことで、とてもありがたかったことは何ですか？

- ・とにかくマイナスなことを言うのを避けてくれたこと。悪い模試を見せても、たまたまだよーと静かに励ましてくれたこと。
- ・勉強や受験する大学の選択に関して過干渉せず、自分の考えを尊重してくれたこと。
- ・どんな時でも、自分で考えた将来のキャリアについて否定しないでくれたこと。こんな職業もあるからこの大学はどうか、のように様々な選択肢を教えてくれたこと。
- ・毎日美味しいお弁当やご飯を作ってもらったこと。毎日家に帰ったときにリラックスできるようにしてくれたこと。私がどんな決断をしてもずっと応援して見守り続けてくれたこと。

### Q2. 受験期において、家族にされたことで、嫌だったことは何ですか？（こうしてほしかった、ということも含めて）

- ・過度に心配する（もう少し自分のやり方を信じて欲しかった）
- ・前女に通ってるのに、そんな学校を受験するなら前女に通わなくて良かったらろう、とか、浪人は絶対にさせないからなとか言っていたのに、後期受験で志望校を下げたら浪人した方がいいんじゃないかと言って手のひら返してきた事。
- ・私大の出願の時に少し喧嘩をしました。というのも、私と親ではなく両親が、です。いつも支えていてくれたことには感謝していますが、情緒も安定しない時期だったので喧嘩するのだけはやめてほしかったです。
- ・嫌だったことはないです

■昨年度実施しました保護者向け講演会の内容を動画にまとめたものを期間限定で配信いたします（5月31日までの限定公開とさせていただきます）。以下のリンクまたはQRコードにより視聴可能です（前女保護者限定の動画としておりますのでリンクの拡散等をご遠慮ください）。

